

# あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492  
TEL0558-99-0248・FAX99-0258

駿豆学園 令和4年5月31日 234号



初夏のおとずれ月

## 令和四年度を迎え

園長 天良 昭彦

新年度を迎えた五月、行動制限の無いゴールデンウィークはとても自由な印象を受けました。テレビ等の報道で映し出された人気の観光地や音楽関係のフェスティバル等の密状態はこれまでのコロナ禍では見るここのない映像で、懐かしささえ感じましたが、今後の感染への影響が大変気になるところです。

昨年度後半には、オミクロン株により県内の障害者支援施設のクラスターが短期間に複数件発生しました。入所型の施設は利用者の生活維持のため、どのような状況下であっても事業を継続する責務があり、出来る限りリスクを避けたいとの思いで一般の方々よりさらに自粛や制限を強化していますのでご理解ください。

令和四年度の行事や活動計画は、コロナ禍以前の企画が出来ることを想定し進めますが、昨年度同様コロナの感染状況に応じ、変更や中止といった柔軟な対応をとりたいと考えています。基本的な感染対策を徹底しコロナとの共存を意識して取り組んでいくつもりです。また、対外的

には中止と判断した企画でも、利用者と職員のみで代替的に実施し、利用者の生活の質が低下しないよう過去二年間の経験を活かし、発展的な企画となるよう努力します。

なお、例年八月に開催していた納涼祭ですが、ここ数年続く厳しい猛暑下での開催は、利用者への負担があまりにも大きいと判断し、開催を取りやめることとしました。長年地域の皆様やご家族とともに楽しんできた伝統ある行事であり大変残念ですが、今年度より十月の日中に「駿豆ふれあいフェスティバル」と銘打ち、新たな行事を企画開催する予定です。納涼祭同様に多くの方々に集っていただけの行事となることを期待しますが、第一回目はコロナの感染状況に左右されることと思います。

また、今年度は、駿豆学園創立五十周年を迎えました。十一月には記念式典の開催を予定しています。半世紀の歳月により、利用者やご家族、施設を取り巻く諸々の状況は大きく変わってきた現実があり、行事や活動等もより適切な内容になるよう検討が望まれます。コロナ禍による生活様式の変容も受け入れつつ、取り組みを模索する、そんな区切りの年となりそうです。

## 駿豆学園修繕計画

総務課長 山口 深志

初夏を迎え、汗ばむ陽気が増えてきました。園舎周辺の桜やクヌギの木々にも葉が生えそろい、暑い日差しを遮るカーテンとなっています。

駿豆学園の園舎を建設して二十年が過ぎ、今年の十二月で二十一年となります。また、旧校舎である作業棟は、一階部分が昭和五十四年に建設され、二階部分は昭和六十一年に増築されており、建設から四十三年増築から三十六年経過しています。

施設をより長期間使用するための長寿命化計画として短期・長期修繕計画を、令和二年度末に作成し、令和三年度中に組合構成市町への説明を行ないました。また、令和三年度には当初の修繕計画を予算化しやすくなるように、年度ごとの支出の増減をなるべく抑えるための平準化を行ない、今年度から事業が開始できるように準備を行なってきました。

事業開始から五年間を短期修繕計画として緊急性の高い場所から優先順位をつけて修繕していきます。今年度は、防災設備など災害時に利用者の安全を守るために必要なことから

ら事業を実施していく予定でいます。

事業開始から六年目からは長期修繕計画として、対応年数の経過した物品や、数十年に一度は入れ替えや付け替えが必要な箇所の修繕を計画していきます。対応年数ごと定期的な支出や大工事になる大きな修繕などを長期的に計画し単年度に突出した支出とならないよう実施します。

修繕を計画的に進め、最終的には最長で園舎本体を建設から六十五年後二〇六五年まで、作業棟を二〇四五年まで維持するように努めます。

海から吹く風の影響による塩害など、立地的には厳しい環境ではありますが、一年でも長く施設が利用できるようにしていきたいと思っています。

短期・長期修繕計画とは別に、日常使用している物品が故障などした場合、今までもどりの修繕を行ない、快適で安全な生活環境の維持と整備をし、利用者が安心して生活できる場所とサービスを提供します。

新型コロナウイルス感染症が日本国内で確認されてから三年目を迎えました。感染予防のためマスクの着用や手指の消毒など、出来ることを実行してきました。今現在は利用者職員共に感染者は出ていませんが、より一層の予防を努力していきます。



## よろしく願います

支援課長 木村 悦治

四月一日より支援課長・サービス管理責任者に任命され新たなスタートを切りました。本来であればご家族の皆様には親の会総会でご挨拶をするところでありましたが、このような情勢によりこの誌面においてご報告をさせて頂きます。昨年度三月をもって十三年間の長きに渡り支援課長を務められた青木前課長が退任となりました。引き続き支援の方でサポートをして頂いており大変心強く思っております。しかしながら、その職務を引継ぐことにあたっては、不安と責任の重さでいっぱいでしたが、支援員の皆さんの協力のもと、一歩ずつ前に進みながら一生懸命取り組んでいきたいと思っております。よろしく願います。

さて本年度は男性職員が一名加わり、利用者の皆さんの支援にあたっていきます。日中活動は作業グループの「大地」と機能訓練を中心とした「あおぞら」に分かれて行います。また創作活動として美術、音楽、おやつ、スポーツの各クラブ活動、そして利用者の皆さんが一番楽しみに

している外出活動を各担当の職員が計画し継続して進めていきます。

利用者の皆さんは心身や健康面などで様々な変化が見られることがあります。三年毎に行われる障害支援区分認定調査が昨年度実施されましたが、前回に比べ「ADL」等が大きく変わったケースも見られました。要因は様々ありますが、今まで自分でしていたことができなくなる、歩行が大変になってきた等、加齢に伴うことも考えられ、活動に楽しく参加できよう、まずは現状の体力と健康状態を維持しながら、個々に応じたプログラムを提供していきます。

そこで重要となってくるのが、個々の利用者さんの状態を良く知るということです。日々の生活状況や活動に参加している様子などをしっかりと見守り、その特性や些細な部分にも目を向け変化を見逃さないようにすること。支援についての基本ですが、この当たり前を確実に行うことが、個々に応じた適切な支援に繋がっていくと思います。

先ずは基本にたつて、利用者の皆さんと共に考え、楽しく元気に生活が送れるようにしていきたいと思えます。本年度もよろしく願っています。

## 給食だより

栄養士 鍵山 智美

保健所から定期的に送られてくる「食品衛生情報」の最新版に、「昨年一年間（令和三年）で発生した県内の食中毒は、発生件数、患者数ともに過去三十年間で最も少なかった一昨年（令和二年）より更に少ない数となりました」との記載がありました。

集団給食施設では、衛生管理に最も注意しなければならず、厨房職員は自分自身の健康管理も含め、常に衛生面に注意を払っています。新型コロナウイルスによって、日々のマスクや消毒が当たり前となった今、調理する側も、喫食する側も同じように衛生面に注意する事で、より安全な食事につながるという事に改めて気づかされました。

ちなみに、全国の食中毒の発生状況は、昨年一年間（令和三年）で発生件数が三割、患者数は五割、一昨年（令和二年）より減少しているとのこと。

## 「季節のせい」に（笑）

看護師 山田 美津子

今年は、やっと春らしい季節になったかと思ったら突然、夏日になったり、朝晩は涼しかったりして急激な気温の変化で、体調管理が難しいですね。こんな時は、気持ちの変化も大きいですが、ご自分で気付いていますか？

とても気分よく元気に過ごせると思ったら、気分が沈み何もやる気が起こらなくなってしまうなんてことはありませんか？

そんな時は、思い切って「季節のせい」にしましましょう。（笑）自分を責めてダメだなあと思ってしまふと更に思い詰めてしまうようですよ。

たまには、さぼっても良い、怠けても良いと自分を肯定してあげましょう。春は、暖かくなる良い季節です。新しい生活で忙しくご自分の心身の変化に気づかないうちにストレスが蓄積しているかもしれません。みんなが、自分に優しく、人にも優しく穏やかに過ごせますように。

## 大地

生活支援員 勝呂 和也

九名で活動班「大地」がスタートしました。今年度は、施設創立五十周年の記念品づくりを行います。

コロナ禍で活動が制限され、ふれあい広場等地域へ参加する場面が中止になり、木工製品、その他の製品を地域の皆さまに、見て頂くことが少なくなりました。自分たちの手で作り発表するという、責任と使命感を強く持ち、仕事に対して意識を高めていけるよう職員、利用者共に頑張っています。



## あおぞら

生活支援員 関 浩将

今年もあおぞらの活動が始まりました。コロナ禍の中、運動量も以前と比べ減ってきており、その中でもできる活動を行ってきております。

日中は野外での歩行活動を中心に、利用者に合わせた運動を楽しく出来るよう行っていきたいと思っています。

また音楽を流しながらの歩行訓練、室内でのレクリエーション等、日々充実した活動出来るよう支援していききたいと思います。

## Let's GO「外出」

生活支援員 山田 成子

利用者さんが毎月楽しみにしている活動の一つが外出です。

四季折々の綺麗な景色を見て、たくさん美味しいものに舌つづみを打ち、色々な体験を通して、生活を送る中で活力と、多くの笑顔を引き出せる外出にしていきたいです。

今年度も、感染症など、気を付けながら、利用者の皆さんに安心して楽しんでもらえるように、取り組んでいきたいと思います。



## 安全対策・権利擁護委員会

生活支援員 佐藤 順子

令和四年度より、虐待防止の為の対策を検討する委員会として虐待防止委員会を設置すると共に委員会での検討結果を従業者に周知徹底することが義務化されました。

それに伴い、昨年まで「安全対策委員会」として実施していたものを「安全対策・権利擁護委員会」と改め、虐待防止責任者の園長をはじめ、支援課長、棟長、看護師による五名の委員で新たにスタートをしました。

前委員会においても虐待及び権利擁護について検証してきましたが、新たにチェックリスト等も活用し、従来のヒヤリハット・事故防止について権利擁護の視点に立った適切な支援となるよう取り組んでいきたいと思っています。

また、月に一回行われている職員研修にも「虐待・権利擁護」に関する議題を挙げていただき、職員全体で勉強会を行う予定です。自分の行動を見つめ直し、職員間で意見交換を行うことによって利用者の皆さんにより良い支援ができるよう努めてまいります。



## 楽しい時間を音楽クラブ

生活支援員 朝香 由起子



音楽が聞こえてくると、思わず歌ったり、自然と体が動きだしますね。利用者の皆さんも音楽がとても好きです。今年度も、音楽を全身で楽しめるような活動を計画していきます。第一回目の活動はダンスでした。少し汗ばむくらい何曲も踊りましたが、皆さんの表情から、ダンスを楽しんでいる様子が伝わってきました。感染予防対策を講じ、皆さんに楽しい活動を提供してまいります。



## 自然の中でスポーツクラブ

生活支援員 藤井 優

コロナ禍によりスポーツクラブの活動内容を制限するようになって三年目となりました。幸い、駿豆学園は周りが海と山に囲まれた、自然豊かな地域にありますので、人が集まりそうな場所などを避けての自然を生かした軽スポーツや体力維持活動などを継続して行う事ができます。

今年度も、利用者さんが楽しんでスポーツ活動を行えるよう支援していききたいと思います。

## 自由な表現で美術クラブ

生活支援員 出川 奈央



今年度、美術クラブは利用者皆さんが楽しみながら自分らしく、自由に表現できる活動にしていきたいと思っています。季節や行事に合わせた作品作りや、文化祭、愛護ギャラリー展に向けて思い思いの表現を形にし、皆で作りに上げていきたいです。好きな色で好きな物を描いたり、色々な素材や用具に触れたりしながら楽しみたいと思います。充実した楽しい活動を計画していきます。



## みんなでおいしくおやつクラブ

生活支援員 松本 明美

今年度、おやつクラブでは利用者の皆さんが楽しみながら美味しいおやつを食べられるよう活動していきたいと思っています。感染症対策を考えおやつ作りに利用者の参加が難しい事もあるかもしれませんが、皆さんの希望を聞き、出来るだけ意欲に添えるよう努力していきたいと考えています。普段なかなか食べられないスイーツを目でも楽しみながら食べられるよう頑張ります。



新人職員

生活支援員

飯島 滉太

四月より支援員として働かせて頂いております。未経験の職種ということもありまだまだ至らない点はいですが、先輩職員の方の指導の下、日々、確実に成長していきたいと思っております。そして、利用者の皆さんにより良い支援が出来るように努めてまいります。よろしくお願い致します。



ヤクルト寄贈

いつもありがとうございます！



草刈りの様子

学園周辺の草刈りを行いました

## 年間予定

- 6 / 5 (日) 運動会
  - 7 / 16 (土) 帰省日
  - 7 / 18 (月) 帰園日
  - 8 / 21 (日) 面会日※新企画
  - 9 / 17 (土) 帰省日
  - 9 / 19 (月) 帰園日
  - 10 / 16 (日) ふれあいフェスティバル・面会日
  - 11 / 20 (日) 創立50周年記念式典
  - 11 / 27 (日) 面会日
  - 12 / 18 (日) クリスマス会・面会日
  - 12 / 28 (水) 帰省日
  - 1 / 4 (水) 帰園日
  - 3 / 5 (日) 面会日
  - 3 / 24 (金) やよいの会
- ※コロナウイルス感染症の状況により随時、変更や中止があります。

## ボランティアのお願い

学園では、縫い物や草取り、その他の軽作業等のできる方を募っております。短い時間でも結構ですので、駿豆学園にお出掛けいただけないでしょうか。お待ちしております。

## ショートステイのご案内

在宅の方で、ご家族のご都合により、ショートステイを希望される方は、お気軽にご相談ください。問い合わせ相談は、随時受け付けています。

## ふれあい広場

― 善意を寄せられた方々 ―

- 東静岡ヤクルト販売(株)様
- 金刺甚一郎様

皆様の「厚意」に御礼申し上げます。

## 【お知らせ】

面会をご希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したリモートでの面会も実施しております。

駿豆学園ホームページでもあなろを閲覧できます。

アドレスは

[www.sunzugakuen.jp/](http://www.sunzugakuen.jp/)です。

ぜひ御覧ください。

## 編集後記

初夏の風が、心地よい季節になりました。駿豆学園の中庭では、今年もつばめが飛び交い、子育ての準備をしています。コロナ禍で、まだまだ制限されてしまうことが多い中、今できる事を皆で考え工夫し、利用者の皆さんも楽しく参加してくれています。以前のような自由な生活に早く戻ってくれることを願うばかりです。今年度も、よろしくお願い致します。